

おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

2018. 8. 27 No. 1

はじめに

学校に勤務した38年間、社会科・総合的な学習・人権教育などで、地域のさまざまな「もの・ひと・こと」と出会い、成長させていただきました。学級経営では学級通信、学校経営では校長通信を書くことが一つの柱でした。

6月から、一中校区の学校・家庭・地域をつなぐお手伝いをするようになりました。自分の得意技を生かして、この地域でいいなと感じた「もの・ひと・こと」を紹介していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

なお、本稿ではコミュニティ・スクールをCSと略記します。

鳥取市出身、米子市
在住。孫二人。阪神
ファン歴40年。



紙コップでまちづくり!?

「一中校区のもの・ひと・こと」と言いながら、いきなり二中校区のことで恐縮ですが、8月9日、中浜公民館で行われた「紙コップ10000個で街をつくろう!」というイベントを紹介します。これは、同館が夏休み子ども講座の一環で行った鳥取県立博物館との連携企画で、定員いっぱい1~6年生約40名が、紙コップ10000個を自由に積み重ねてまちをつくるという造形遊びを楽しみました。



細かい注意は一切なし



壊れても粘り強く取り組む



これは高速道路だね!



親子が同じ目線です!



視点を変えると①



視点を変えると②



このまちが好き!



完成! 「そうっと歩こう」



LED灯を仕掛ける5,6年



自分の顔を描く1~4年



きみとぼくが住む夜のまち



「遊びきった」満足感

遊びで育つ創造性、粘り強さ、協働力は、実際のまちづくりに必ず生かされると思いました。